

令和7年度上半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	日光児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市日光町9丁目1番3号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,107,000 円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造 2階建のうち1階の一部 ◇敷地面積:3,001.55㎡ ◇延床面積:370.16㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、集会室、事務室、 駐車場(日光コミュニティセンター駐車場と共有) ※日光コミュニティセンター、日光事務所との合築		

●利用状況

		R7 上半期	R6 下半期	R6 上半期	R5 下半期	R5 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	13,196	11,251	12,479	11,733	1,945
	移動児童館利用者数	749	263	260	244	321
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※8(3)	※11(5)	※8(3)	※9(4)	※9(4)
	開館日数(単位:日)	156	151	154	151	155

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①計画通り実施しました。 ②所長1名、職員2名の3名を配置しました。 (うち保育資格2名 教員資格1名 児童厚生員3名) ③「児童用おたより」の発行-16か所に配布しました (小学校5校区、幼稚園、保育所、中学校、特別支援学校、コミュニティセンター) 「幼児用おたより」の発行-11か所に配布しました。(幼稚園、保育所、中学校、特別支援学校、コミュニティセンター) ホームページはスマートフォンにも対応し、市民の皆様へのお知らせやブログも用いてタイムリーで分かりやすく配信しました。 また、当岐阜市社会福祉事業団が管理している他の8施設のホームページとリンクを貼り、他館の情報も入手しやすくしました。 気象警報発令時などの情報は、迅速にホームページにUPしました。 ④ご意見箱を設置し利用者からのご意見・ご要望をいただける体制としました。また児童・保護者を対象にアンケートを年2回実施しました。(上半期1回) 苦情・クレームについてはマニュアルに従って対応しました。 意見・アンケート調査結果は館内に掲示するとともに、改善できるものは迅速に対応しました。 また、日頃から利用者とコミュニケーションをとり、話しやすい雰囲気作りを心がけました。 ⑤仕様書・事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		
施設管理	①施設設備の保守点検の実施	①管理者点検マニュアルにもとづき保守点検を適切に実施しました。

	②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	②幼児室に口に入れた物を入れる箱を作りアルコール消毒を実施しました。トイレの便座、洗面所を1日1回アルコール消毒を実施しました。 就労継続支援B型事業所清掃班による清掃を実施しました。業者による窓ふき・ワックスがけを行いました。 ③未使用の部屋の電気、エアコン等スイッチを切り、適切な温度設定、フィルター清掃などを行い節電に努めました。また、ペットボトル及び牛乳パックなどの廃材を事業に活用するなど環境に配慮した施設運営に心がけました。 おもちゃや本の寄付があり、きれいにしてリサイクル活用しました。 ④月1回の職員による施設の安全点検・遊具点検、月2回のAED器具の機能確認、毎日の消毒、清掃を行い、遊具、玩具、設備、備品の維持管理に努めました。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①緊急性のあるものは、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に即時報告して判断を仰ぎました。 また日頃から職員が点検を行いました。 ②大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出しました。 故障した玩具などはおもちゃ病院に修繕していただきました。(上半期43個修繕していただきました)
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対策マニュアル、児童福祉法等関係法令を遵守し適切に実施しました。 災害や事故等が発生した場合には、岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を構築しました。 個人情報が記載された用紙は厳重に管理し、使用后シュレッダー処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。 消防訓練を1回実施しました。 6月にコミュニティーセンターと日光事務所と利用者合同で行いました。 職員間で災害に対しての話しをし、利用者に安全に利用していただけるよう確認を行いました。

●利用者評価

利用者アンケート の実施状況 及び実施結果	＜保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート＞									
	【期間】		令和7年 7 月 1 日 ～ 8 月 31 日							
	【回答者数】		100 人							
	【校区】		島: 24 人 城西: 21 人 則武: 20 人 早田: 18 人 長良西: 3 人 岐阜: 2 人 常磐: 2 人 (無回答有) その他市内: 7 人 その他市外: 2 人							
	【年齢】		10 代: 0% 20 代: 6% 30 代: 64% 40 代: 25% 50 代以上: 5%							
	【評価】									
	(あいさつ)		満足: 96%		ほぼ満足: 4%		普通: 0%		やや不満: 0% 不満: 0%	
	(言葉づかい)		満足: 96%		ほぼ満足: 4%		普通: 0%		やや不満: 0% 不満: 0%	
	(利用者対応)		満足: 95%		ほぼ満足: 4%		普通: 1%		やや不満: 0% 不満: 0%	
	(利用しやすさ)		満足: 87%		ほぼ満足: 10%		普通: 3%		やや不満: 0% 不満: 0%	
利用者からの 要望・苦情と 対処・改善	(整理整頓)		満足: 88%		ほぼ満足: 11%		普通: 1%		やや不満: 0% 不満: 0%	
	(清潔感)		満足: 84%		ほぼ満足: 11%		普通: 5%		やや不満: 0% 不満: 0%	
	(換気)		満足: 90%		ほぼ満足: 8%		普通: 2%		やや不満: 0% 不満: 0%	
	○その他アンケートの内容と結果は、別紙のとおり。									
	＜小・中・高校生用アンケート＞									
	【期間】		令和7年 7 月 23 日 ～ 8 月 31 日							
	【回答者数】		100 人							
	【学年】		小学: 1 年 8 人 2 年 11 人 3 年 17 人 4 年 23 人 5 年 11 人 6 年 11 人 中学: 1 年 4 人 2 年 5 人 3 年 0 人 高校: 1 年 7 人 2 年 2 人 3 年 0 人 無回答: 1 人							
	【学校名】		則武小 47 人 早田小 15 人 城西小 9 人 島小 9 人 その他市内 20 人 その他市外 0 人							
	○その他アンケートの内容と結果は、別紙のとおり。									
利用者からの 要望・苦情と 対処・改善	・いつも楽しく遊ばさせていただいています。絵本やコミックもあってありがたいです。レジン等の工作がもっとあると嬉しい。 →ご意見ありがとうございます。レジンは夏休みの工作でとても人気がありましたので今後も行事に取り入れていきたいと考えております。また子どもたちに喜んでもらえるような工作も考えていきたいと思ひます。 ・どらやき作り・かき氷作りのような簡単にできるイベントや小学生が遊べる水遊びがあるといい。 →ご意見ありがとうございます。今年の夏休みのイベントでかき氷や綿菓子をして2回行いました。今年はとても暑かったこともありたくさんの方が参加してくださいました。とても好評だったのでまた簡単にできるイベントを考えていきたいと思ひます。小学生が遊べる水遊びはとても楽しいと思ひますが園庭が狭いので行事に取り入れることは難しいと考えております。何か良いアイデアがありましたら職員にお話ししてもらえたら嬉しいです。ご理解のほどよろしくお願ひいたします。 ・プールの時にクーブをつけてほしいです。 →ご意見ありがとうございます。クーブが何かわからず調べたのですが、わからないままになっています。他の言葉も調べてみましたがプールに関係するものがありませんでした。ご迷惑をおかけして申し訳ありませんが教えていただけたら大変助かります。よろしくお願ひいたします。									
	・いつも優しく接していただきありがとうございます。幼児室の冷房が寒いと感じることが多いです。 →ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。児童センターの空調設備はコミュニティセンターと一緒になっています。幼児室の空調が故障していて、児童館の方で幼児室のスイッチを切っても、大元のコミュニティセンターの電源が入っていると冷房が止まらない状態です。設備点検を何度ももらひ、業者にも修理してもらひていますが老朽化もあり直りま									

せん。コミュニティセンターの電源を切ることも出来なく、窓を開けることしかできなくて申し訳ありません。ご迷惑をおかけしますがご理解の程よろしくお願いいたします。

- ・おもちゃ(0歳用)増やしてほしい
- ご意見ありがとうございます。どんなおもちゃが良いのか利用者さんの声を聞きながら、おもちゃを増やしていきます。
- ・幼児室に小学生が入ってきて、お城を登ってジャンプすることがあり小さい子どもがいる時だったので危なかった。
- ご家族様にご心配をおかけして申し訳ありませんでした。今後は二度とご心配をおかけすることの無いよう小学生から目を離さないよう注意してまいります。利用される方みなさんが楽しく過ごせるよう職員みんなで安全面に気を付けていきます。
- ・平日夕方小学生の子たちがゲームやお財布を床に置きっぱなしなのがたまに心配になります。
- ご心配をおかけして申し訳ございません。貴重品は持っていないように、また持って来た場合は自己管理するか鍵付きロッカーを使うように掲示したり子どもたちに話しています。送迎される保護者にも話しています。また職員が度々部屋を見回り声をかけています。これまででなくなったり、トラブルはありませんが、より一層貴重品の管理について子どもたちに話していきます。また職員も子どもたちが児童センターで楽しくすごせるよう寄り添い見守っていきます。また何かお気づきの点がございましたら教えていただきますようお願いいたします。ご意見ありがとうございました。
- ・地縛少年花子の物や漫画を置いてほしい 2人
- ご意見ありがとうございます。購入できるか分かりませんが、職員で検討します。
- ・いつも楽しいです
- ご意見ありがとうございます。そうしてもらえて嬉しいです。ありがとうございます。
- ・もっと面積を広く(特に遊戯室)／狭い
- ご意見ありがとうございます。遊戯室の大きさを変更することはできないので、今の広さで楽しんでもらえたら嬉しいです。
- ・ハイストがあってほしい
- ご意見ありがとうございます。どんなものか見て職員で検討してみますね。
- ・トイレの数を増やす
- ご意見ありがとうございます。増やすことは難しいですが、トイレが混んでいるときは多目的トイレもありますのでご使用ください。
- ・寒い
- ご意見ありがとうございます。寒い時や暑い時は、エアコンの温度を調節するので職員に声をかけてくださいね。
- ・工作の行事を増やす
- ご意見ありがとうございます。工作の行事も取り入れていきます。どんな工作がしたいかよかったら教えてくださいね。
- ・最近の新しい漫画とかがあると面白いと思います
- ご意見ありがとうございます。最近の新しい漫画はどんなものがありますか。ぜひ、教えて下さいね。職員で検討します。
- ・コナン全巻買ってください
- ご意見ありがとうございます。購入できるか分かりませんが、職員で検討します。
- ・先生を増やしてほしい(A先生2人いてほしい。)
- ご意見ありがとうございます。先生が多いほうが楽しいですよ。伝えておきます。
- ・楽しすぎ
- ご意見ありがとうございます。そうしてもらえて嬉しいです。ありがとうございます。
- ・ずっと来たいです
- ご意見ありがとうございます。待ってます。
- ・いつもありがとうございます
- ・いつもありがとう。これからも来ます
- こちらこそありがとうございます。これからも来てください。待ってます。

●指定管理者の選定基準に基づく評価(日光児童センター)

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	S	S	S
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者のニーズ、苦情の把握 ・利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応・運営への反映	S	S	S
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	S	S	S
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体力増進指導に関し知識技能を有する者)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	S	S	S
		区分評価				S
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	利用者アンケートの実施(公平性・透明性①) ・実施回数:1回(7月～8月に実施) ・保護者用(100名)(再掲①④) 今期も幼児クラブの保護者だけでなく、一般利用者(幼稚園児・保育園児・小学生の保護者など)にもアンケートを実施しました。より多くの利用者からアンケートをいただくことで、幅広い層からさまざまなご意見・ご要望をいただくことができました。 (別紙①参照) アンケートの結果として、児童館が安心して楽しく遊べる場所であることをとても嬉しく思います。これから皆様も満足していただける児童センターになるよう努めて参ります。またどの意見も真摯に受け止め、改善できることは素早く対応していきます。 ・児童用(100名)(再掲①④) (別紙②参照) アンケートの結果として、「居場所作り」ということを意識しなくても子どもたちにとって児童センターは日常的に利用でき、安心な場所であることがわかりました。地域に溶け込み誰もが気軽に来れる存在でいられるようこれからも子どもたちとの関りを大切にし、遊びを通して成長できるよう支援していきたいと思います。 またどの意見も真摯に受け止め、改善できることは素早く対応していきます。 運営委員会の開催 実施回数:上半期1回 (内容等記入) ・令和6年度事業報告・令和7年度運営方針・事業内容 ・校区别交流会・意見・要望等交換会 ・熱中症対策について・移動児童館について ・地域の問題点について 自転車に乗る時のヘルメット着用 道路の渡り方 校区外へ出かける 夜間外出 学校・地域で解決策を考え対応していく。 (城西小学校校長) ・子どもスタッフや子ども企画に参加している子どもを教えてほしい。学校以外のこどもの姿を認めていきたい。 委員長(則武小学校校長) ・児童センターには大きな役割があり、価値がある。居場所がない子、親同士のつながりがない子、友だちがいない子、共働きで日中親がいない子、またこの時期暑くて公園で遊べないなど。子どもたちを担う役割が大きい。児童センターは学校が知らない情報を知ってみえるので情報共有をして連携を取ると良いと思います。いろんな立場で子どもたちを支えることが大切だと思います。運営委員のみなさんも児童センターへ来たことがきっかけで、児童センターと関わりを持ち、子どもへの関りにつなげていくと良いと思います。 副委員長(則武自治連合会会長) ・日光児童センターには何度か顔を出すことでセンターの役割や立ち位置が理解できました。運営委員会に鷺山が入っているか疑問だったが、センターの役割が活用されていることと、交流を深めていきたいためということがわかりました。今回運営委員会に参加し一番得をしているのは清流中学校なのではと思いました。小学校→中学校→センターという様につながっていると思います。子どもたちには小学校でも中学校でもない場所が必要。今後とも子どもたちのためにできることを児童センターと共有しながら進めていきたいと思います。 広範で適切な情報提供・広報活動の実施(公平性・透明性②) ・子ども副館長が「にこにこ新聞」を発行(再掲②③⑥) 夏休みに向け、子ども副館長が児童センターの紹介を載せた「にこにこ新聞」を自主的に作ってくれました。小学校5校区の子どもたちに配り、夏休みに向け、児童センターのPRになりました。 ・則武小学校コミュニティ・スクール学校運営協議会に参加(再掲②④⑭⑮) 委員の皆さんに児童センターを知ってもらえる機会になりました。また学校運営に携わり、地域との連携が子どもたちを育むためにとても大切だということを改めて思いました。児童センターは子どもたちの居場所としてとても大切な場所であることを認めてもらえているので、これからも役割をしっかりと果たせるよう取り組んでいきたい。 ・岐阜清流中学校コミュニティスクール学校運営協議会に参加(②④⑭⑮) 委員の皆さんに児童センターを知ってもらえる機会になりました。また学校運営に携わり、地域との連携が子どもたちを育むためにとても大切だということを改めて思いました。児童センターは子どもたちの居場所としてとても大切な場所であることを認めてもらえているので、これからも役割をしっかりと果たせるよう取り組んでいきたい。 ・則武自治会連合会・則武まちづくり協議会が運営する「のりたけ夏まつり」に参加(②⑭⑮) スタッフ会議に参加し、児童センターを知ってもらえる機会になりました。また、夏まつりのお店のスタッフとして参加し、地域の方と交流を深めることができました。児童センターを知らない方も見えたのでPRができてとても良かったと思います。地域の活性化に貢献することができました。 ・Instagramによる広報宣伝活動(再掲②⑥) Instagramを導入したことにより、多様な手段で幅広い年齢層に、スピーディーに情報を提供できました。動画や音楽などを活用し、より親しみやすいInstagramを提供することができました。上半期投稿回数—115フォローワー203人 ・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載(再掲②⑥) 毎月発行している乳幼児と保護者向けおたよりの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で記載しました。これにより、普段利用している児童館以外の児童館を知っていただくきっかけとなりました。 ・「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥) 毎月発行するおたよりを「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき、「ツナグテ」の利用者にも日光児童センターのPR
--------------------------	---

	を行うことができました。 10部から15部に増やしました。 ・4地区合同赤ちゃんクラブでのPR 移動児童館で参加した際、幼児クラブの活動や行事などの情報を提供しました。4地区とは則武・早田・城西・島です。 ・おたよりの配布 幼稚園・保育園・小中学校・特別支援学校・コミュニティーセンターなど16カ所に毎月おたよりを配布し情報を提供しました。 ・早田校区でのPR 親子ふれあい教室の移動児童館に参加した際、幼児クラブの活動や行事などの情報を提供しました。 ・島校区でのPR 親子ふれあい教室の移動児童館に参加した際、幼児クラブの活動や行事などの情報を提供しました。 ・城西校区でのPR 城西青少年育成市民会議主催のこども会の移動児童館に参加した際、行事などの活動や情報を提供しました。 ・ホームページでの情報提供 ホームページの更新、最新情報を提供しました。 業務改善や工夫(効果性③) 幼児クラブの在り方を見直し改善(③⑥) 事前の申し込み制をやめ当日先着申し込みで行うようにしました。 (理由) ・遊びに見えた時に幼児クラブを知り、参加したくても申し込みをしていないと参加できない利用者さんが多い。断るのも悲しい。1学期間待たないと入れない。 ・申し込み制だと定員があるため入れない人が出てくる。 ・申し込みをした方の1割～2割の方がお休みされる頻度が高い。 ・他の児童館や、幼稚園、保育園のクラブと掛け持ちをされる人がみえるので、1学期間の予定通り参加できないことがある。 ・月齢で分けるので、早生まれ(1月～3月)の子は同じ学年のこどもと一緒に活動する時間が少ない。 ・お休みの連絡を入れるのが大変だと感じる。忘れていて後で連絡を入れてくださる人もいます。 ・誰もが平等に参加できる形に変えたかった。 ・クラブの参加型は変わっていないが、自分で曜日・活動内容を選んで好きなときに来れるという、児童館の特性を生かしたクラブに変更 利用者の主体性を生かしたクラブの在り方に変更し、模索中(変更) ・ベビー・1歳児・2歳児～就園前までの3クラス ・定員20名 ・参加される人は希望の日に来館し、受付表に記入 ・今までは同じ年齢のクラブが2つあり、1学期間の回数が5～6回だったのを1つにして曜日は前回と変えず2曜日で10回の活動に変更した。 ・年齢はおおよそなので、保護者の判断で好きなクラブに参加できる。 ・月齢によっては保護者の判断で2クラブ参加しても良い。(例—1歳11ヶ月の子が1歳児クラブ・2歳児以上クラブ両方) ・回数に縛りがいないため何回参加しても良い。 (結果) ・遊びに見えた時に幼児クラブを知り、参加できとても喜ばれました。その後も参加されました。 ・申し込み制の時と参加人数はほとんど変わりませんでした。 ・当日先着順だったが、入れなかった人は1人もいませんでした。 ・事前申し込みではないので定員以上きても受け入れることができました。 ・お休みの連絡もいらなし、都合の良い時に来れるので気楽に参加できありがたいと言われました。 ・幼児クラブの期間中変更に対して、不満や疑問の声は聞かれなかった。 ・アンケートに「このまま予約なしの運用が望ましい」と感想が書かれてありました。 (まとめ) ・幼児教室ではなくクラブなので、気楽に参加できる方が利用者にとって良いのではないかな。 引き続き2学期もこの形で幼児クラブを進めて行こうと思います。問題点が見えた時は、その都度職員で対応し解決・改善していきます。 ・第3駐車場の使用(③⑤) 前回のアンケートに「第3駐車場を使いたい」と意見がありましたので、コミュニティーセンターの所長に相談したところ他の施設が使用しない時は児童センターで使っても良いと許可をもらいました。小さいお子さんがみえる保護者にとっても喜ばれています。 ・ぬりえコーナー 児童センターで人気のぬりえコーナーにこどもたちの手作りぬりえを増やしました。31種類になりいろんなキャラクターが増えとても喜んでます。職員が頼んだわけではなくこどもたちが自主的にぬりえにしたいと描いてくれるのもとても良いことだと思います。 新しいぬりえがたくさん増え利用者に喜ばれています。 ・小・中学生役割分担 児童センターに遊びに来ている小・中学生が児童センターでの役割を自分たちで決めました。 ・こども館長 ・副館長 ・こども遊び係長 ・おたよりなどのデザイナー
--	--

	・プレゼントを作る人 などです。事業を計画・運営し活動しています。 ・おみやげコーナーの充実(③⑤⑭) 障がい者の方が折り紙でたくさんの作品を作り持ってきてくださいます。 利用者にとても喜ばれています。 ・リクレーション協会の活用(③⑨) レクリエーション協会から道具を借り普段できない遊びを子どもたちと楽しみました。(ディスゲッター9・ソフトダーツ・ド ッジビー) ・お話を語る会「読み語りルンルン」の時間変更(講師)(再掲③⑥⑭) 毎月2回 16:00～16:30 の時間でしたが、その時間は幼児の参加が少ないので1回を 11:00～11:30 に変更し、幼児が 参加しやすいよう見直しをしました。幼児も小学生もどちらも絵本の読み聞かせに触れ合う時間を持つことができました。 毎回いろんな先生がみえ、30分ほど絵本・大型絵本・紙芝居・手遊び・歌などを企画して下さいます。語り方も違 うし、個性的で楽しい先生ばかりです。読み語りの中に落語を取り入れた月もあり日本の伝統芸能を伝えることもでき ました。また多種多様な絵本・紙芝居を見ることができるので子どもたちも楽しみにしているし、職員の勉強にもなりま す。 ・サイエンスショーの開催と見直し(再掲③⑭) 毎年サイエンスショーを2回行っていましたが、今年度は1回にし、もう1回を科学工作を依頼しました。「デーパー万 華鏡作り」を開催し大人気でした。参加された保護者からは「科学工作は家でできないことだし、とても楽しかったので また計画してほしい」とリクエストがありました。 令和4年度から2回/年、各児童館で開催しているサイエンスショーの内容については、これまでの開催経験を踏ま え、「子ども参加型で、実験・体験・驚きを感じられるもの」、「華やかさ・わくわく感がじられるもの」など各施設からの要 求に沿った内容のショーを開催し、子どもたちが驚き・どよめき、科学に対する興味・関心を高めることができました。 ・ベビータ임に保健師さん参加(③⑤⑥⑬) 0歳児クラスに学期に1回保健師さんに来ていただいています。保護者の方から「保健師さんに相談したいことがあ る。」「保健師さんに会いたい。」ということを知っていたので保健師さんの見える日を紹介し、無事に相談することがで きました。また1学期は「こどもの熱中症について」のお話を聞くことができました。その後、育児相談をしていただき、 育児に悩んでみえる方に寄り添えるよう努めました。 ・人気のある小学生行事の開催(再掲③⑥) 人気のある「ドッジボール」「カロム」などの行事を多く取り入れるようにしました。 9月は子どもたちに大人気のドッジボール月間を作りしました。大学生のお兄さんのドッジボールも含め5回行いました。 4回は平日にも関わらず参加人数は 176 人 今年度も毎月カロム大会を行い、優勝者を掲示し年間チャンピオンを目指す目標を作りしました。チャンピオンを目指し て毎日のように練習にくる子どもたちがいました。好きなことをみつけ一生懸命練習する姿はとても素敵で、みるみるう ちに上達していききました。勝って達成感や成功体験を感じたり負けて悔しい思いをしったりカロムという遊びからいろん な学びを体験していることを感じました。 ・将棋で遊ぼうの開催(地域ボランティア)(再掲③⑭⑮) 今年度も地域の方に先生をお願いして、毎週1回将棋を教えていただきました。毎回保護者の方が送り迎えをしてく ださり参加する子・将棋の本をもって来る子など児童センターに将棋を目的に来る子が増えました。女の子も来てくれ ます。 地域の方とのつながりのありがたさに感謝し、これからも地域の方やボランティアと一緒に子どもたちを見守ってい きたいと思います。 ・リユースの取り組み(再掲③⑨) おもちゃや本の寄付があり、きれいに使用しています。寄附していただく物はとてもきれいで大切に使われていた ことがわかります。「子どもが使っていた物がまたここで子どもたちに使ってもらえて本当にうれしい」と言われました。こ どもたちや保護者の方からも「新しいおもちゃがある」と、とても喜んで使っていただいています。 新規事業(行事)等の実施(効果性③) 子どもたちの主体性を生かした新規事業の開催 ・1年生を迎える会 こどもスタッフが役割を決め、「児童館の利用の仕方」「ゲーム」「プラ板キーホルダー作り」「プレゼント作り」などを企 画し、行事を行ってくれました。 ・バトミントン大会ー2回 ・ビーチバレーで遊ぼう 城西小学校6年生こども遊び係長の男児 T 君が企画 賞状を作り表彰式を行ってくれました。 キックベースで遊ぼうー2回 則武小学校6年生女児 Y さん H さんが企画し行事を行ってくれました。 おりがみでプッシュポップ作り 早田小学校3年生女児 N さん男児 R さんが企画し、行事を行ってくれました。 ・ボードゲームで遊ぼう ・イラストコンクールー2回 則武小学校4年生女児 M さんが企画し、行事を行ってくれました。 ・マンカラで遊ぼうー3回 城西小学校4年生男児 H 君が企画し、行事を行ってくれました。 ・チョーク絵 則武小学校4年生女児 R さん H さん K さんが企画し、行事を行ってくれました。 (こどもたちの主体性を生かした事業の結果) ・こどもたちの自主性を大切に考え、こどもたちに向き合い取り組んだ結果、こどもたちが自分のやりたい事、自分の 気持ちを素直に発信できるようになってきました。これからも職員がこどもたちのやりたい気持ちを尊重し、職員がサ ポートしながらこどもたちの自信に繋がる経験ができるよう努めていきたいと思っています。 ・みんなで遊ぼう(再掲③⑨) 児童センターの備品である大型の遊具「巨大ジェンガ」「巨大だるま落とし」を使い子どもたちと遊びました。初めてみる 遊具に、子どもたちはわくわくしていました。
--	---

	・日光紙芝居クラブー5回 ボランティアや職員がサポートに入り、こどもたちが紙芝居や絵本の読み聞かせを練習し幼児さんに読み聞かせを行っています。「読み語りルンルン」の先生にも指導していただき一緒に読み語りを行うこともできました。幼児と小学生の関りもできるのでこれからも継続していこうと思います。絵本と触れ合う時間がたくさんもてるようにしていきたい。 ・地域の方に勉強を教えてもらおうー10回(地域講師)(③⑥⑭) 以前のアンケートに「平日勉強を教えてもらえると嬉しい。」という意見がありました。毎月日曜日に大学生のお兄さんに勉強を教えてもらっていますが、平日は無かったので地域の方にお願ひし、毎月2回勉強会を実施しました。毎回小学生から中学生の子の参加があります。親さんの送迎で来てくれる子もいます。保護者からも「塾に入っていないのでとても助かります。」と言っているみたいです。また「こどもに勉強を教えたいので」と言われ保護者の方が何回も参加されていました。勉強会が定着し、必要としている子が増えてきたので学習支援の見直しをし、これからも講師に依頼し定期的に行っていきたい。 ・えりちゃんの折り紙教室ー3回(地域講師)(③⑥⑭) 障がいがある方が行事を計画し行ってくれました。 毎回女の子中心で定員いっぱいになります。こどもたちは説明をしっかりと聞きとても楽しく行事に参加しています。こどもたちにとって貴重な時間になりました。えりさんもこどもたちと関わったり得意な工作を教えることが出来ることを喜んで見えます。後期もえりさんに依頼し続けていきたい。 ・レクリエーション(③⑨) レクリエーション協会から道具を借り普段できない遊びをこどもたちと楽しみました。(ディスゲッター9・ソフトダーツ・ドッジビー) ・タイルでデココースター作り(母親クラブ)(再掲③⑮) 夏休みに母親クラブののこにこさんが開催しました。たくさんの子が参加し大盛況でした。 ・レジンでイニシャルキーホルダーを作ろうー2回(地域講師)(③⑥⑭) 地域の方に講師を依頼し開催しました。こどもからのリクエストだったのでとても喜んでいました。大人気で2日間ともあつという間に定員いっぱいになり、申し込みが出来なかったこどもや親からもう一度やってほしいと言われました。アンケートにも「レジンなどの工作をやってほしい。」と意見がありましたので後期も講師に依頼し企画していきたい。 ・マジックショー(地域講師)(③⑥⑭⑮) 岐阜清流中学校の先生に講師を依頼し開催しました。幼児から大人まで76人ほどの参加があり大盛況でした。 ・おもちゃ病院の先生による工作(母親クラブ)(③⑭⑮) 廃材とグルーガンを使い、自分で考えた作品を作りました。一人一人違う物が出来上がりこどもたちの想像力のすごさがわかりました。これだけの廃材は用意できないのでおもちゃ病院の先生は偉大です。 ・かき氷・綿菓子を食べようー2回(ボランティア行事)(再掲③⑭) 大人ボランティアが来てくれ、かき氷・綿菓子作りを行いました。夏休み前からこどもたちがとても楽しみにしていた行事の1つでした。2日間行い幼児から大人まで155人の参加がありました。(保健所へ申請) ・サイエンスショー(講師)(再掲③⑭) 令和4年度から2回/年、各児童館で開催しているサイエンスショーの内容については、これまでの開催経験を踏まえ、「こども参加型で、実験・体験・驚きを感じられるもの」、「華やかさ・わくわくが感じられるもの」など各施設からの要望に沿った内容のショーを開催し、こどもたちが驚き・どよめき、科学に対する興味・関心を高めることができました。 ・フラダンス(地域講師)(再掲③⑥⑭) 地域の先生に依頼し企画しました。衣装をたくさん持ってきてくださり、女の子も男の子も喜んで着ていました。先生が児童館用のフラダンスを考えて来てくださり、みんなで練習しました。最後は、みんなで楽しく踊ることができました。 ・岐阜大学生ジャグリングショーと体験会(③⑥⑭) 岐阜大学の学生に講師を依頼し、ジャグリングショーを開催しました。中には世界大会にも出場経験がある人もいて、普段見られない技の披露などを見せていただきました。こどもも大人も目を輝かせてみていました。今回はけん玉ショー・ディアボロショー・ボールショー・デビルスティック・シガーボックスなどもあり、よりパワーアップしていました。実技指導もあり、こどもたちは一生懸命挑戦していました。「お兄さんみたいにかっこよくになりたい!」と目をきらきらさせて練習する姿がとても印象的でした。ショーが終わった後も、こどもたちは大学生のお兄さんたちから離れず帰るまで技を教えてもらっていました。 ・「はあるん」のバルーンアートとけん玉ショーと体験会(③⑥⑭) 島中学校1年生の女の子2人組「はあるん」とジャグリングの先生に依頼し開催しました。はあるんがみせてくれる技にこどもたちは夢中になっていました。 ショーの後体験会を行い、バルーン作りやけん玉チャレンジカードに挑戦していました。 ・岐阜大学生人形劇コロッポ(③⑥⑭) 岐阜大学の学生サークル「コロッポ」に依頼し、人形劇を見る会を開催しました。人形劇を間近で見る経験がないのでこどもたちは夢中になってみていました。 上映が終わった後に人形に触らせてもらう時間もあり、実際に人形を動かしたり、大学生のお兄さんお姉さんとお話しをしたり、とても楽しそうに過ごしていました。 ・幼児クラブにフリースペースの生徒・高校生参加(再掲③④⑭⑮) 岐阜清流中学校の「フリースペース」の生徒たちと高校生の人たちが、幼児クラブのお楽しみ会に参加しお手伝いをしてくれました。フリースペースの生徒たちは、普段から児童センターを居場所として活用しています。担任の先生とこの子たちが少しでもいろんな場所に出かけたり、いろんな人と関わる機会を持てるよう支援していこうと話していたので、良い機会となりました。中学生の皆さんはとても温かい気持ちで、優しく幼児さんに対応していました。また話すことが苦手な子は回りの様子を伺い、幼児さんが安全にお店を回れるよう見守っていました。これからも関係を大切に、活動を続けて行きたいと思っています。 ・絵本のローテーションの実施(再掲③⑤) 岐阜市が購入した幼児向け絵本20冊の内10冊を原則1カ月単位で当事業団が管理する9施設でローテーションを行いました。これにより、各施設では毎月さまざまな絵本に触れることができる機会を提供することができました。 ◎子どもたちの主体的な活動の場、話し合いの機会等の提供を行ったか。 ・あきまつりスタッフ あきまつりに向け、スタッフを募集し話し合いを行いましたー2回
--	---

	・こども副館長が「にこにこ新聞」を発行(再掲②③⑥) ・子どもたちの主体性を生かした新規事業の開催(再掲) 利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応、運営への反映(効果性④) ・利用者アンケートでのご意見 利用者アンケートでご意見をいただいた内容について、館の運営に反映できるものはすぐに実行・改善しました。 また、実行できないものについては実行できない理由を説明し、ご理解をいただけるよう務めました。 ・保護者用アンケート(再掲①④) ・児童用アンケート(再掲①④) ◎配慮を必要とする子どもへ適切な対応を行ったか。 ・こどもの居場所づくりの推進(再掲④⑬⑭) ・岐阜清流中学校のフリースペースの1つとして活用してもらっています。担当教諭と生徒が遊戯室で体育の授業を実施しています。バトミントン・卓球・バレーボールなどを行っています。 4月～9月一回 利用者数一延べ114人 授業以外でも、居場所として児童センターを利用する子が増えました。事務室で宿題をやったり、職員とおしゃべりしたり、趣味を満喫しています。中には自ら行事のお手伝いしてくれる子もいます。自由に過ごせることで心が落ち着くようです。平日の夕方や土日に来ています。家に許可をもらい学校帰りに来館する子もいます。 ・サードプレイスとしての活用(再掲④⑬⑭) フリースペースの生徒の中に、学校には行けないけど児童センターなら行けるという子たちが居場所としています。サードプレイスの機能を果たしていきたいと思います。学校と情報を共有し見守っています。 ・岐阜清流中学校のけやきクラスー4回(再掲④⑭) 学級全体の交流を深めるため児童センターを活用されました。 ・幼児クラブにフリースペースの生徒・高校生参加(再掲③④⑭⑮) ・則武小学校コミュニティ・スクール学校運営協議会に参加(②④⑭⑮) ・岐阜清流中学校コミュニティスクール学校運営協議会に参加(②④⑭⑮) ・学校との連携(再掲④⑬⑭) 配慮が必要な児童の様子など小学校や中学校と情報共有し見守っています。則武小の校長先生の携帯番号を教えてください、必要なときは電話やメールで連絡をとれるようにしています。また岐阜清流中学校の校長先生や、則武小学校の校長先生と支援が必要な子どもたちの情報を共有し、見守りました。 これからも、児童館という場所の必要性が地域に広まるように努めていきたい。 ・事務室をコミュニケーションスペース(こども)(再掲④⑬) 事務室を開放しているのでこどもたちのコミュニケーションスペースになっています。家庭・学校・友だちのことなど話してくれます。また進路相談・恋愛相談・両親の相談をしにきてくれる子もいます。必要に応じ、学校やエールに情報共有していきます。児童館がこれからも子どもたちの居場所であり続けていけるよう努めていきます。今後も配慮を要するこどもたちを長期的に見ていき、その子が成長できるよう、職員は今以上に意識してこどもたちを支援していきます。 ・他施設の事例研究 当事業団が管理する児童館・児童センター9 館の所長会で、他施設で実際に起きた事例を研究し、配慮を必要とする子どもが利用された際、どの施設でも適切に対応できるようにしました。 移動児童館の実施(仕様書別記4参照)(効果性⑤) ・日光児童センター: 則武小、早田小、城西小、島小、鷺山小の5地区 ・実施回数: 8回(うち未設置地区: 3回(城西1回、島1回、早田1回)) ※赤ちゃんクラブは場所は則武ですが、則武・早田・城西・島の4校区が共催して行っていますー4回 利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施(効果性⑤) ・団体利用(再掲⑤⑥⑭) ・今期も「GIFUシングルマザー＆ファザーのホットサロン」の会が隣接するコミュニティーセンターで行われました。ひとり親 cheers の方たちが団体利用で児童館を利用、しこどもたちを預かってみえました。「ここは、こどももスタッフも安心できる場所なのでとても助かります。」と喜ばれていました。 ひとり親 cheersー5回 ・青少年育成市民会議早田支部の方が親子ふれあい教室で利用されました。 ・放課後等デイサービスラビットキッズの方が利用されました。 ・放課後等デイサービス HOMEBASE の方が利用されましたー2回 ・放課後等デイサービスマイルブリーズの方が利用されました。 ・おおのレディースクリニックの方が利用されました。 こどもたちに関係するいろんな団体の方に利用していただけることで児童センターを知っていただけ児童センターの役割も広がるように思いました。 ・コミュニケーション 送迎をされる保護者にあいさつをして話しかけ、コミュニケーションを取ることを心がけました。また帰宅時は職員が外にでて、こどもたちが道路へ飛び出さないよう送りだすようにしました。気さくに話をしてくださる方が増え、「安心してこどもを遊ばせられます」と言われる保護者の方が何人もみえました。 ・ベビータイムに保健師さん参加(再掲③⑤⑥⑬) ・第3駐車場の使用(③⑤) ・絵本のローテーションの実施(再掲③⑤) ・おみやげコーナーの充実(③⑤⑭) ・人気のある小学生行事の開催(再掲③⑤⑥) 利用促進や利用者増に繋がる方策の実施(効果性⑥) ・幼児クラブ申し込み連携 登録制幼児クラブで定員を上回る応募があり、残念ながら抽選に漏れてしまった方に対して、他館の幼児クラブに空きがある場合、幼児クラブを紹介できる体制を構築しました。 ・幼児クラブの在り方を見直し改善(再掲③⑥)
--	--

	・団体利用(再掲⑤⑥⑭) ・大人のボランティアの存在(再掲⑥⑦) 日光児童センターに定期的に来ていただいている大人のボランティアの方々が見えます。この方たちは行事を企画したり、お手伝いをしてくれたりすることはもちろん、普段の子どもたちの遊び相手になってくれます。勉強・恋愛・学校のことなど親身に話をきいてくれたり、掃除・片付けなども手伝ってくれます。それぞれの特技を生かして行事を企画したり、子どもをそのまま受け止めてくれます。日光児童センターのスタッフとして大きな存在であり、小学生・中学生からも大人気です。ボランティアと遊びたい・話したいと来てくれる子どもたくさんいます。職員とは違う素敵な大人がたくさんいることはいろんな人に関わる経験もでき、いろんな遊びを教えてもらえるしとにかく楽しい！職員だけでなく、いろんな素敵な人たちと関わられるような体制を今後も取ってまいります。 ・子どもたちの主体性を生かした新規事業の開催(再掲③⑥) ・小学生・中学生・高校生スタッフの存在(再掲⑥⑦) 児童センターにいつも来ている小学生・また小さいころから児童センターを利用していた中学生・高校生がボランティアとして行事を行ってくれたり、子どもの遊び相手になってくれたり、おもちゃなどの貸し出し、ぬりえを渡してくれるなど子どもスタッフとしてたくさんの仕事をしてくれます。職員だけでは手が回らない時など助けてくれます。この子たちは児童センターのことがよくわかっているし、子どものこともよくわかっているので児童センターのスタッフとして大きな存在です。 ・講師 講師の方にたくさん来ていただく機会を増やしました。職員でできない分野は講師のお力をお借りし、子どもたちにいろんな体験をしてもらいたいし、いろんな人に関わって視野を広げてほしいので講師の方の行事を増やしました。 ・ベビータイムに保健師さん参加(再掲③⑤⑥⑬) ・人気のある小学生行事の開催(再掲③⑥) ・お話を語る会(講師)(再掲③⑥⑭) ・地域の方に勉強を教えてもらおうー10回(地域講師)(再掲③⑥⑭) ・えりちゃんの折り紙教室ー3回(地域講師)(③⑥⑭) ・レジンでイニシャルキーホルダーを作ろうー2回(地域講師) ・マジックショー(地域講師)(再掲③⑥⑭⑮) ・サイエンスショー(講師)(再掲③⑥⑭) ・フラダンス(地域講師)(③⑥⑭) ・「はあるん」のバルーンアートとけん玉ショー(講師)(再掲③⑥⑭) ・岐阜大学生人形劇コロポ(③⑥⑭) ・岐阜大学生ジャグリングショーと体験会の開催(再掲③⑥⑭) ・子ども副館長が「にこにこ新聞」を発行(再掲②③⑥) ・インスタグラムによる広報宣伝活動(再掲②⑥) ・「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥) ・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載(再掲②⑥) 過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制(効果性⑦) ・常勤職員3名を配置。 ・週2日出勤の職員を1名配置。 ・当事業団事務局職員2名が応援要員として対応可能です。 ・児童館での事務仕事の一部を事務局で対応することで、現場職員の負担を軽減し、利用者対応に集中できます。 ・大人のボランティアスタッフの存在(再掲⑥⑦) ・日曜日バイト 月2回ほど日曜日に大学生がアルバイトで来てくれます。子どもの遊び相手はもちろん、行事も行ってくれます。またお兄さんなので子どもたちからは大人気です。女性職員では出来ないダイナミックな遊びをしてくれたり、若いので子どもたちと距離も近く話し相手にもなってくれます。貴重な存在です。 ・小学生・中学生・高校生スタッフの存在(再掲⑥⑦) ・母親クラブの協力 行事・おまつりなどさまざまな活動に協力していただいています。児童センターのスタッフとして大きな存在です。 ・夏休み行事「タイルでデココースター作り」 ・夏休み行事「おもちゃ病院の先生による工作」 ・将棋で遊ぼう 職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加(安定性・安全性⑫) ・普通救命講習(小児・乳児対象) 6月12日:岐阜市消防本部 講師:岐阜中消防署員 10名参加 内容:小児や乳児に対する心肺蘇生やAED、止血法を学ぶ。 熱中症対策研修会 6月5日:事務局 7名参加 講師:岐阜市中保健センター職員 9名参加 内容:子どもの熱中症対策、熱中症の応急処置など ・虐待防止研修会(再掲⑫⑬) 6月4日:事務局 講師:岐阜県警察本部少年サポートセンター職員 8名参加 内容:児童虐待の実態、最近の子どもについて、少年サポートセンターの役割など ・新規採用者研修会 7月2日:事務局 講師:事業団役員 7名参加 内容:今年度児童館・児童センターに配属された職員を対象として、児童館ガイドライン(平成30年改正厚労省)の内容を理解し、児童館運営の充実に役立てるため、児童館ガイドラインの策定に携わった当事業団役員が講師となり開催。 ・職員スキルアップ研修会(6月～11月、4回開催、上半期は2回開催) 各児童館・児童センター職員1名以上が参加 6月24日:サンフレッドみわ児童センター 8名参加 内容:子どもへの言葉のかけ方
--	--

	7月9日：サンフレンドうずら児童センター 11名参加 内容：人気のおもちゃ紹介と実践 梅林児童館・加納児童センター職員も参加 ・事業団管理者研修会 8月：オンライン研修会 内容：ハラスメント ・発達障がい児と保護者への対応 9月25日：事務局 講師：エールぎふ相談員 内容：発達障がい児と保護者への対応について 危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備(安定性・安全性⑬) ・災害対策マニュアル ・危機管理マニュアル ・不審者対応マニュアル ・地震防災マニュアル ・緊急地震速報受信時対応マニュアル ・病害虫防除マニュアル ・食中毒・感染症等対応マニュアル ・社会福祉施設避難確保計画(対象災害：水害(洪水)) ・安全計画 ・業務継続計画(自然災害編、感染症発生時編) リスク防止策の実践(安定性・安全性⑬) ・業務継続計画(BCP)の作成と運用 感染症(新型コロナ感染症等)感染者が施設内で発生した場合。また、自然災害(大規模地震や洪水等)が発生した場合に施設職員がとるべき行動を定めるとともに、平時から円滑に実行できる準備を定めた業務継続計画の感染症発生時編と自然災害編を作成し、運用を始めました。 ・虐待防止委員会の開催 当事業団児童館・児童センター所長9名による虐待防止委員会児童部門を開催。虐待防止に向けた対応策について研究しました。 ・虐待防止研修会の開催(再掲⑫⑬) ・消防訓練の実施 日光児童センターはコミュニティーセンター・日光事務所との複合施設であることから、合同で消防訓練を実施しています。火災の際の避難誘導をより迅速・的確に行う必要があり、職員一人ひとりの日頃の準備が大切です。 ・電子メールの誤送信対策の徹底 日光児童センターでは、メールアドレスを他者に漏洩することがないように電子メールを使用して一斉配信をする際は、自動的にBCCに変換できるソフトを導入し、対策しています。 ・こどもの居場所づくりの推進(再掲④⑬⑭) ・サードプレイスとしての活用(再掲④⑬⑭) ・学校との連携(再掲④⑬⑭) ・事務室をコミュニケーションスペース(こども)(再掲④⑬) ・こども110番の家の登録(再掲⑬⑮) こどもが助けを求めた際、そのこどもを保護し、必要により警察、学校、家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみでこどもたちの安全を守るため、こども110番の家に登録しています。 ・その他 職員による施設の安全点検毎日実施 おもちゃ点検を毎月実施しました。 AED点検毎月2回実施 消防設備等点検を実施 コロナ感染等により、施設職員が一定期間出勤できない状況が起きた際でも、施設業務に支障がないよう、事務局職員や他児童館職員が応援できる体制としました。 地元の諸団体との連携、交流(貢献性⑭) ・則武自治会連合会・則武まちづくり協議会が運営する「のりたけ夏まつり」に参加(②④⑭⑮) ・幼児クラブにフリースペースの生徒・高校生参加(再掲③④⑭⑮) ・岐阜清流中学校のけやきクラス4回(再掲④⑭) ・こどもの居場所づくりの推進(再掲④⑬⑭) ・サードプレイスとしての活用(再掲④⑬⑭) ・則武小学校コミュニティ・スクール学校運営協議会に参加(②④⑭⑮) ・岐阜清流中学校コミュニティ・スクール学校運営協議会に参加(②④⑭⑮) 学校との連携(再掲④⑬⑭) ・団体利用(再掲⑤⑥⑭) ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用(貢献性⑭) ・施設清掃 当法人内の就労継続支援B型事業所による施設清掃を実施しました。 ・えりちゃんの折り紙教室ー3回(地域講師)(③⑥⑭) ・地域の方に勉強を覚えてもらおうー10回(地域講師)(③⑥⑭) ・レジンでイニシャルキーホルダーを作ろうー2回(地域講師)(③⑥⑭) ・マジックショー(地域講師)(③⑥⑭⑮) ・かき氷・綿菓子を食べようー2回(ボランティア行事)(再掲③⑭) ・フラダンス(地域講師)(再掲③⑥⑭) ・岐阜大学生人形劇コロッポ(③⑥⑭) ・「はあるん」のバルーンアートとけん玉ショーと体験会(③⑥⑭) ・おもちゃ病院(再掲⑨⑭) ・将棋で遊ぼうの開催(地域ボランティア)(再掲③⑭⑮) ・お話を語る会(講師)(再掲③⑥⑭) ・ジャグリングショーと体験会の開催(再掲③⑥⑭)(講師)
--	--

	・サイエンスショーの開催(再掲③⑭) ・中学生ボランティアの活動(再掲③④⑭) ・ボランティア行事(再掲③⑭) 地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)(貢献性⑮) ・則武自治会連合会・則武まちづくり協議会が運営する「のりたけ夏まつり」に参加(②⑭⑮) ・則武コミュニティ・スクール学校運営協議会に参加(②④⑭⑮) ・岐阜清流中コミュニティスクール学校運営協議会に参加(②④⑭⑮) ・岐阜版アダプトプログラムへの参加 職員が児童館周辺道路の清掃活動を定期的実施する、岐阜版アダプトプログラムに参加しています。 清掃活動は、毎週土曜日の朝全職員で実施しています。 ・こども110番の家の登録(再掲⑬⑮) 地元の団体・住民との協働事業等の実施(貢献性⑮) ・幼児クラブにフリースペースの生徒・高校生参加(再掲③④⑭⑮) ・親子ふれあい教室への開催協力 則武地区・城西地区・早田地区・島地区の親子ふれあい教室に移動児童館として訪問し、職員によるさまざまな遊びを体験していただきました。 ・将棋で遊ぼうの開催(地域ボランティア)(再掲③⑭⑮) ・タイルでデココースター作り(母親クラブ)(再掲③⑮) ・おもちゃ病院の先生による工作(母親クラブ)(③⑭⑮) ・マジックショー(地域講師)(③⑥⑭⑮)
前回までの意見を踏まえた取組み状況	○こどもやその親とのコミュニケーションを大切にし、話しをしやすい環境に努めている。 →ありがとうございます。今後も利用者とのコミュニケーションを大切に、丁寧な対応を心掛けています。 ○近隣の学校と連携し、児童センターをフリースペースとして利用するといった「居場所」の役割を担っている →ありがとうございます。今期も児童センターをフリースペースとして利用してもらっています。また授業以外でも居場所として児童センターを利用するが増えました。来期もこどもたちが安心して過ごせる居場所になるよう努めて参ります。 ○幅広いボランティアと協力し、地域の児童館としての役割を果たしている。 →ありがとうございます。今期も素晴らしいスキルや知識を持っていらっしゃる地域の方に講師を依頼しました。来期も地域の方々のお力をおかりして新規事業に取り組んで行きたいと思います。
今後の取組み	□居場所作り ・配慮を必要とする児童生徒を受け止め、支援の一端を担っていきます。自立を目指せるような対応や環境作り、周囲との連携を固め居場所や安心感のある児童館を目指します。また各種関係機関との繋がりを強め、体制を強化していきます。 こどもたちが安心してありのままの自分でいられるような居場所づくりを務めて参ります。 □地域を大事にした活動を進める ・現在も母親クラブの方々が子どもたちの活動の企画・準備・運営をしてくださっています。来期も子どもたちのために何かをしてあげたいという地域の方々が増え児童館で活動していただけるよう取り組んでいきます。 □初めて来館した母親への支援を重視する ・今の世代の母親や家族に合った子育てに関する情報を職員が勉強しておき、0歳から就園に至るまで長期的に利用してもらえるような支援を目指します。 □ボランティア ・子どもが自主的にお手伝いなどをやりたいという気持ちを受け止め尊重することを日常的に取り組み、主体的に施設運営に携わっているという意識が持てるよう取り組んでいきます。 ・子どもスタッフを立ち上げ行事を企画したり、おまつりなどのお手伝いをお願いしていきます。 ボランティア・子ども・地域みんなで児童館を盛り上げていけるよう取り組んでいきます。 □学習支援 ・勉強が苦手・不登校・不登校気味・塾に通えない等さまざまな理由で勉強に対しての意欲がない児童が増えていきます。でも高校には行きたいという思いはありますのでその気持ちに寄り添っていききたいと思います。今期も大学の学生や地域の方に依頼し勉強を見てもらう行事を実施します。行事だけでなく子どもたちが目標をもてるような学習支援の在り方を考え取り組んで行きたいと思います。 □職員研修会の充実 ・今期も職員スキルアップ研修会を充実させ、幼児向け・小学生向け工作や遊びのメニュー講座などを開催し、職員の事業実施力の向上に努めます。 また、外部講師による研修会、虐待防止研修会を開催し、リスク対応力を強化します。 □広報宣伝活動の強化 ・インスタグラムによる広報宣伝活動を開始し。特に乳幼児を持つお母さん方への広報宣伝活動を強化します。

●所管課の意見

○則武小、岐阜清流中のコミュニティスクール学校運営委員会に委員として携わるにより、地域とのつながりが深まるとともに地域の人に児童館を広く知ってもらう取り組みができています。

○お話を語る会を 11:00-11:30 と 16:00-16:30 に開催し、幼児も小学生も絵本に触れ合う時間を持てるようにしている。また、小学生にも絵本を読んでもらう取り組みは評価できる。

●指定管理者評価委員会の意見

- 子ども館長や遊び係長などの役職をつくるなど、子どもが参画できる仕組みを設けている点は評価できる。
- その他、すべての評価項目が業務要求水準以上となっており、適正に管理運営が行われている。